

シンカー Sinker

2人プレイバージョン ルール説明書

『シンカー』は元々3～4人のための、より少ないビッドを目指すトリックテイキングゲームでしたが、これを2人で遊ぶこともできます。2人で遊ぶためのすべてのルールはこの説明書に記載されており、元々のゲームを知らなくてもこの説明書を読むだけで遊ぶことができます。すでに3～4人でプレイしたことのある方は、最後の「ルール差分」の項目だけご覧くださってもかまいません。

用具・カード構成・ランク

ジョーカーを除く52枚のトランプから、2～6を抜いた32枚を使います。強さは強いほうから順に、A, K, Q, J, 10, 9, 8, 7です。ほかに、点数を記録するチップなどを用意します。

ディールの流れ

1回のディールは、「ディール」→「ビッド」→「プレイ」の順に進み、最後に得点をつけます。ゲームの終わりは任意に決めてかまいません。

ディール

ディーラーを適当な方法で決めます。カードを裏向きにノンディーラーから交互に1枚ずつ配り、各プレイヤーの手札が8枚になるようにします。残りのカードは裏向きの山札にします。

次に、ノンディーラーから順に、手札から好きな枚数を裏向きに捨てて山札の上から同数引くことができます。1枚も捨てなくてもかまいません。

ビッド

手札を交換し終わったら、ノンディーラーから交互に、自分が取る最大トリック数を宣言するか、パスします。一度パスしたら、相手のビッドがただちに確定します。

宣言する最大トリック数が低いほど強いビッドです。ビッドは3からしか宣言できず、相手が宣言したら自分はより強い（低い）ビッドしか宣言できません。ビッドの強さは弱い順に、3→2→1→ゼロ→オール、の5種類です。オールは、全トリック取る特別なビッドです。

また、ゼロとオールに対するオーバーコールとしてのみ、得失点を2倍にするダブルゼロ、ダブルオールのビッドがそれぞれできます。ただし、ダブルゼロよりもただのオールの方が強いビッドです。

パスしなかった人がデクレアラーになります。オールの場合のみ、デクレアラーは捨て札を全部手札に入れ、その後手札が元の枚数になるよう裏向きに捨て札してもかまいません。

両者が宣言せずパスしたら、「ダイビング」のプレイを行います。

プレイ

デクレアラーが最初のリードを行い、マストフォローのトリックテイキングをプレイします。切札はありません。

デクレアラーが取ったトリック数をビッド以下に抑える（オールの場合は全トリック取る）ことに成功したら、またはそれが確定したら、デクレアラーの勝ちです。逆に、ビッドしたトリック数を超えてトリックに勝ててしまえば（オールの場合は1トリックでも取り逃したら）、デクレアラーの負けです。

「ダイビング」では、ノンディーラーが最初のリードを行い、全トリックをプレイします。

得点

1 ディールが終わったら、得点をつけます。

デクレアラーが勝てばデクレアラーが、負ければオポネントが、それぞれ得点します。得点は通常のビッドでは（10-ビッド数）、オールは15点、ダブルのビッドは各2倍です。ビッドを超えない範囲でトリックを取っても失点はありません。

「ダイビング」のときは、より多くトリックを取ったプレイヤーが-10点です。両者が最多トリックで並んだら、両者とも-10点です。

複数ディールをプレイし、合計点を競います。

ヴァリエーション

手札交換が簡単にすぎると感じたら、あなたがトリックテイキングのプレイに慣れてきた証拠です。そのような場合、より挑戦的なゲームにするために手札交換の上限を4枚にしてもよいでしょう。

ルール差分

元の3~4人用のゲームとは、次の点が異なります。

- ・手札は各8枚です。
- ・ディール、交換、ビッドはいずれもノンディーラーから行います。
- ・オポネントが1トリックを獲得するごとの-1点はありません。
- ・ビッド未達時のデクレアラーの失点はなくなり、すべてのビッドは成功したらデクレアラーが、失敗したらオポネントが、それぞれ所定の点数を得るようになりました。

Sinker for 2 players

Game Design by Kazuma Suzuki (Twitter: @_kazuma0221)

Playtest by Sai Beppu (Twitter: @allotment31)

©Tarte Games 2019

Email: tartegamestokyo@gmail.com